

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新庄市立沼田小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 996-0091

山形県新庄市十日町2701番地の2

E-mail numata-e@city-shinjyo.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 161 名 女子 169 名 合計 330 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、命とこころの教育に取り組んでおり、エネルギー環境教育・キャリア教育・ふるさと学習を柱として全学年で様々な活動を行っている。

一例として、①服のチカラプロジェクト（3年生の総合的な学習の時間）、②わたしのすきなまち、新庄（新庄まつりについての学習）（3年生の総合的な学習の時間）③田んぼの学習・エネルギー学習（5年生の社会・総合的な学習の時間）、④リサイクル活動（環境委員会）を行った。

① 服のチカラプロジェクト（3年生の総合的な学習の時間）

「ユニクロ」の社員による出張授業をしていただき、服には命を守る力があることや、その服を十分に着られない人たちが世界中にいることを知った。自分たちにも社会貢献ができることを学び、着られなくなった服を集めるために、校内に呼びかけをし、難民の人たちへ送る活動を行った。段ボール13箱分の古着を集め、ユニクロを通して古着を送ることができた。

② わたしのすきなまち、新庄（新庄まつりについて）（3年生の総合的な学習の時間）

地域のことを知るための学習の一環として、新庄まつりについて調べ、体験する学習を行った。新庄まつりに携わる地域の方の協力を得て、お囃子の演奏や山車の制作などを実際に体験した。学習のまとめに、新庄まつり発表会を行い、体育館で新庄まつりについてわかったことを発表し、自分たちでお囃子を演奏し、作った山車を引いて練り歩いた。

③ 田んぼの学習・エネルギー学習（5年生の社会・総合的な学習の時間）

学校の近くの田んぼを借りて、田植えと稲刈りを体験した。作物を育てる苦労を体験し、太陽や水など自然のエネルギーが様々なものを育てていることを実感することができた。

また、東北電力の協力を得て、電気がどのように作られるのかを知るために発電所（水力発電・火力発電・風力発電・太陽光発電）の見学をした。限りある資源を有効に使いながら生活していくことの大切さを学んだ

④ リサイクル活動（環境委員会）

環境委員会では、年間4回リサイクル活動を行った。全校に呼びかけ、空き缶、牛乳パック、ペットボトルキャップの回収を行った。リサイクルできるものは捨てずにリサイクルをし、資源を無駄なく使う意識を高めることができた。

また、日頃から使わない教室の電気を消すことや暖房をつけたままにしないこと、水道の蛇口の水をしっかり止めること、などを呼び掛け、点検活動を行っている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ユニクロHP 難民についてのパンフレット (ユニセフ) 新庄まつり関連図書 新庄市役所HP やまがた米ものがたり (JAグループ山形・JA全農山形)
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に総合的な学習の時間に位置づけ、年間計画を作成して取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌に位置付けている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

全校で子どもたちと保護者にアンケート調査を実施。子どもたちが世界に目を向けるようになった。自分の住んでいる地域、新庄市が好きだという子どもが増えた。ユネスコ無形文化財への理解が深まった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

新庄市の「教育の日」のステージ発表で、活動についての発表を行なった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ・ユニクロなど企業の協力
- ・新庄まつり保存会やイバラトミヨ保存会など地域の団体との連携

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

子どもたちが世界に目を向けるようになった。自分の住んでいる地域、新庄市が好きだという子どもが増えた。ユネスコ無形文化財への理解が深まった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度までの取り組みを継続して実施する。近隣のユネスコスクールとの交流を検討していく。